



インターネットでの情報提供	
提供予定日	10月24日(木)

平成25年10月23日(水) 県政記者クラブ配布			
担当課	担当係	担当者	電話番号
消防課	消防係	早崎 貢朗	県庁内線2471 直通058-272-1122

「第19回全国女性消防団員活性化ぎふ大会」の開催について

全国の女性消防団員が岐阜県に一同に会し、日頃の活動や成果をアピールし、意見交換や交流を通じて連携を深めることにより、女性消防団員の一層の活性化を図る「全国女性消防団員活性化ぎふ大会」を、10月30日(水)に高山市で開催します。

[消防庁から本大会の日時・次第等について公表済(H25.10.18)]

記

1 開催日時・場所

平成25年10月30日(水) 10:10~16:20

飛騨・世界生活文化センター(高山市千鳥町900-1 TEL0577-37-6111)

2 参加人員 約2,500人

(全国の女性消防団員約2,200人、県内女性消防団員・女性防火クラブ員等約300人)

3 大会テーマ 「伝統を守り、未来を拓く^{ひら} われら女性消防団」

4 主な内容

○開会式(10:30~)

主催者挨拶 消防庁長官 大石 利雄^{としお}ほか

来賓祝辞 岐阜県知事 古田 肇

開催市長挨拶 高山市長 國島 芳明

○活動事例発表(11:25~)

4消防団(愛媛県今治市、埼玉県川越市、大阪府枚方市、佐賀県伊万里市)

○火災予防啓発劇(13:15~)

4消防団(岐阜県飛騨市、茨城県阿見町、宮崎県日南市(女性消防部)、福岡県北九州市若松)

○記念講演[対談](14:50~)

清水ミチコ氏(高山市出身タレント)

伊藤 伸久^{のぶひさ}氏(岐阜放送東京支社長・元ひだ高山総局長)

5 主催等

主催/総務省消防庁、(財)日本消防協会、(一財)岐阜県消防協会、

第19回全国女性消防団員活性化ぎふ大会実行委員会

共催/岐阜県、高山市

後援/岐阜県市長会、岐阜県町村会、岐阜新聞・ぎふチャン、福井県・石川県・富山県・

三重県・愛知県・静岡県各消防協会、岐阜県消防長会

6 岐阜県ならではの「おもてなし」

防災ミナモもお出迎えます！
「さるぼぼ」着ぐるみと一緒に、
記念撮影コーナーも設けます。



(1) 岐阜県の伝統文化の披露

地元高山市消防団による飛騨の祝い唄「めでた」の合唱で開幕。アトラクションでは県重要無形民俗文化財の奥飛騨温泉郷一重ヶ根の郷土芸能「鶏芸」を、大会後の情報交流会では、国重要無形民俗文化財の「郡上おどり」を披露。



(2) 県産食材を用いた昼食弁当の配布

昼食弁当として、全て県産食材を用いた飛騨の昔ながらのご馳走料理を詰め合わせた「飛騨ごっつお弁当」を参加者に配布。

(3) 飛騨のお土産品を参加者全員にプレゼント

飛騨の思い出として、県の木「イチイ」の箸2膳、さるぼぼストラップ色違い3個セットを、参加者全員にプレゼント。

- ※赤いさるぼぼ：御福（夫婦円満、無病息災）
- 青いさるぼぼ：勉強（成績向上、合格祈願）
- 金のさるぼぼ：黄金（金運、勝負運）



(4) 飛騨の特産品を景品に「お楽しみ抽選会」を開催

飛騨の木工家具、飛騨牛、たかやまもち米、地酒等を景品にお楽しみ抽選会を実施。

(5) 県産品のPR販売

ウェルカムプラザ（来場者の受付場所周辺）に約30の出展ブースを設け、塩せんべいなどの飛騨の駄菓子、明宝ハム、栗きんとん、鮎菓子、地酒などの県の特産品を販売。

(6) 地元B級グルメの販売

昼食会場となるふれあい広場にて、飛騨牛串焼き、飛騨牛カレー、飛騨牛ライスバーガー、飛騨牛コロケ、飛騨の牛乳、高山ラーメンなどの地元B級グルメを販売。

(7) 観光PR

高山市の商工団体の協力を得て、土産物店・飲食店等でサービスを受けられるマップを作成し、市内観光文化施設の入場割引券や観光案内とともに、大会参加者に配布。

また、飛騨・世界生活文化センター併設の「ミュージアム飛騨」を、参加者に無料開放。（「日本の美 飛騨デザイン」をコンセプトにした、春慶塗や木工家具等の常設展示を実施中）